

普及活動情勢報告（令和8年2月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

次作に向けて！ ～ J A 高知県西土佐米ナス部会総会～



実証ほの調査結果を報告する技師

1月22日、J A 高知県西土佐出張所で、西土佐米ナス部会の総会が開催され、生産者17名、関係機関9名が出席しました。

農業改良普及課からは、遮熱資材の実証ほの調査結果とナスの植物生理や生育調査結果等について説明しました。

生産者からは、「新しい資材の展張時の作業性はどうか」「部会員の収量較差が大きいことが問題だ」などの意見がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関とともに、米ナスの生産振興に取り組んでいきます。

先輩の経験を知りたい ～ 農業基礎講座～



青年農業士に質問する研修生

1月22日、中村合同庁舎で、農業基礎講座（研修生と青年農業士の交流会）を開催し、研修生1名、青年農業士2名が参加しました。

農業改良普及課は、日程調整や会場準備、当日の進行を行いました。

研修生からは、「ハウスを購入する場合、中古か新規でどのような違いがあるのか」「機械はどのようなものが必要か」など積極的な質問がありました。また、質問に対して青年農業士から経験をもとにアドバイスがあり、今後の営農に対するイメージを深めることができました。

農業改良普及課は、今後も生産者同士の交流活動を支援していきます。

大規模法人の取組を知ろう！ ～ 第2回幡多地域集落営農法人連絡協議会～



説明を聞く法人組織

1月23日、中村合同庁舎で、第2回幡多地域集落営農法人連絡協議会を開催し、14法人、関係機関19名が参加しました。

農業改良普及課からは、総会に向けた定款変更や剰余金処分、今年度の水稻の実証試験結果について情報提供しました。また、株式会社アルプロンからはJクレジットについて、営農支援センター四万十株式会社の熊谷代表取締役からは会社の取組について講演をしていただきました。

参加者からは、「雇用確保に向けて大変勉強になった」「Jクレジットについて興味を湧いた」などの声がありました。

農業改良普及課は、今後も集落営農法人の経営発展に向けて支援していきます。

今作の生育状況はどうか？ ～ J A 高知県西土佐ナバナ部会現地検討会～



出荷規格について学ぶ
生産者

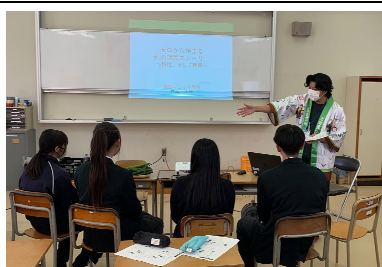
1月27日から2月2日にかけて、四万十市西土佐のナバナ栽培ほ場で、ナバナ部会の現地検討会が開催され、生産者30名、関係機関5名が参加しました。

農業改良普及課からは、追肥の施用方法や根こぶ病対策などの情報提供と、事故品防止のための注意喚起を行いました。

生産者からは、「雨が少なく追肥が溶けん」「葉面散布は効果があるか」などの意見や質問がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関とともに、ナバナの安定生産に向けて支援していきます。

幡多地域の農業のこと、知っていますか？ ～幡多農業高等学校で出前授業～



ブースで説明を聞く生徒

1月28日、高知県立幡多農業高等学校で、2年生23名に対して出前授業を実施しました。生徒はグループごとに各教室に設置された5市町村のブースを巡り、産地の特徴や農家の1日、農家になるまでの流れについて説明を受けました。

農業改良普及課は、幡多農業高等学校進路部の教員及び市町村職員と開催日程の調整や配付資料の助言を、また当日は出前授業運営支援を行いました。

生徒からは、「農家は儲けるのか」「農業用ハウスはいくらするののか」「若くても就農できるのか」などの質問があり、農業への関心を高めることができました。

農業改良普及課は、今後も若者に地域の農業を知ってもらう活動を実施します。

令和8年度も豊作を！ ～ J A 高知県中村支所水稻生産部育苗講習会～



高温対策について説明を行う
技師

2月4日、四万十市のJ Aグリーン四万十店2階で水稻生産部会の育苗講習会が開催され、生産者4名、関係機関3名、肥料メーカー3社が参加しました。

農業改良普及課からは、水稻を育苗する際の注意点や高温対策について説明しました。また、メーカーからは肥料、農薬についての情報提供がありました。

生産者からは、「昨年度は白未熟粒等による落等は少なかった」「高温耐性品種の栽培特性や収量など情報があれば教えてほしい」などの意見がありました。

農業改良普及課は、今作も豊作となるよう、生産者の栽培指導に取り組んでいきます。

今年度の栽培準備を始めましょう ～土佐清水市でシントウ栽培講習会を開催～



高温対策について説明を行う
普及指導員

2月10日、土佐清水市のJA高知県三崎出張所で、令和8年度にシントウを栽培する農家を対象に栽培講習会が開催され、生産者11名、関係機関4名が参加しました。

農業改良普及課からは、夏期の栽培管理で必須である高温対策について、遮光・遮熱資材の効果とかん水等の栽培管理を説明しました。

生産者からは、「寒冷紗を張る箇所は通路とシントウ上ではどちらがいいか」「最暑期のかん水量の目安はどのくらいか」などの質問がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協力して、生産者への栽培支援を実施していきます。

高収量農家の管理を学ぼう ～黒潮町若手キュウリ現地検討会～



自身の耕種概要について話す
生産者

2月16日、黒潮町のキュウリ生産者のほ場で、若手キュウリ現地検討会を開催し、若手キュウリ生産者を含む10名が参加しました。

農業改良普及課からは、12月～1月までの気象、高収量農家の耕種概要・栽培状況、今後の管理方法について説明しました。

生産者からは、「換気をするとハウス内が乾燥してしまうがどうすればいいか」「湿度設定により加温機を動かす場合、ハウス内温度は何度になるか」などの質問や意見がありました。

農業改良普及課は、今後も現地検討会を開催し、黒潮町若手キュウリ生産者の栽培技術向上に向けて支援していきます。